

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10020040

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・都市計画図・用途地域図の修正印刷 各50枚/3年
基本施策	18	住環境の整備	事業優先度	B		
単位施策	4	都市計画の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町都市計画図修正印刷事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成29年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	都市計画図・用途地域図修正印刷枚数		関係課	#N/A		
事業目標	各50枚×2年		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	・都市計画図修正印刷 ・用途地域図修正印刷		・都市計画図修正印刷～50枚 ・用途地域図修正印刷～50枚			・都市計画図修正印刷～50枚 ・用途地域図修正印刷～50枚
	事業費(千円)	840	0	420	0	420
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	840		420		420	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	419	0	419	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	419		419			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 各50枚	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				各50枚
	(継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	100%	#DIV/0!	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	0%	50%	50%	50%
	事業進捗状況		☆☆☆☆			

事業名	雄武町都市計画図修正印刷事業	評価者	管理職 職氏名	課長	渡邊孝司
		評価者	作成者 職氏名	係長	永井栄次

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民全般、都市計画業務。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	修正・印刷枚数
【抱える課題やニーズは】	道路・建物等の現状との相違。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	現状との相違を解消する。	① 修正・印刷枚数/修正・印刷枚数の実績	目標年度 平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	都市計画業務の向上を図る。		目標値 100枚
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間事業者による委託の実施。	民間業者に発注し、修正・印刷業務を行った。	実績値 100枚
			達成度 100.0%
			②
			目標年度 平成26年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	より正確な現状を反映させるうえで必要であり、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、都市計画業務の向上が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	修正データを有する民間業者に依頼したことにより、事業費の軽減が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	当該事業は、都市計画業務、道路整備・維持管理業務等、町全般に寄与するものであり、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
より正確な現状を反映させるうえで、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
都市計画業務の向上を図るうえで、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止